



青島まさはる通信

20号 2022年10月発行



鶴見区で37年間小学校の
教員をしていました



小学校のような 中学校給食実現を！

自校調理方式

横浜を「子育てをしたいまち」に

8月30日山中市長は、「子育てをしたいまち 次世代をともに育むまち ヨコハマ」を「基本戦略」に据え、「2022-2025中期4か年計画素案」を発表しました。

その中には、公約の一つである中学校3年生までの所得制限なしの小児医療費無償化を、2023年から始めるとしています。さらに、出産費用の無償化、敬老パスの無償化と「3つのゼロ」を盛り込み、カジノなど大型事業中心の林市政と違って、市民生活重視の姿勢を明らかにしています。「子どもにやさしいまちは、高齢者にも現役世代にもやさしいまち」（山中市長）この点を政策に徹底してほしいと思います。



《実現しよう》だれでも何度でも無料のPCR検査
医療体制の充実、休業補償、生活保障
若者への住宅手当創設 最低賃金全国一律2000円
介護保険制度の拡充、利用者負担の軽減
給食の無償化をはじめ教育の無償化



市民が望むのは、温かい給食


しかし中学校給食については、19度に冷やすデリバリー給食で「全員喫食」をめざすとしています。これは多くの市民が望む小学校のような温かくおいしい給食ではありません。デリバリー方式で進めてきた相模原市や神戸市は生徒・保護者の声を聞いて、センター方式などによる完全給食をめざしています。私たちは小学校と同じ自校調理方式を中心とした中学校給食を実現していくために、署名をさらに広く集め、市長に対して強く要請したいと思います。



生活を圧迫する円安・値上げ 生活を守る対策は待ったなし。

公共料金、食品、日用品など値上げラッシュ。家計では、2人以上、年収400万円～500万円の世帯で、年間7万円以上の負担増が試算されています。先進国がみな賃上げが続く中、日本だけが賃金が下降し、年金にも影響しています。今すぐ賃上げ、生活支援対策が必要です。



 **困りごと
なんでも相談**
電話 or メールで
ご連絡ください。
お力になれるよう
頑張ります。


平和と民主主義をともにつくる会・かながわ

〒230-0061 横浜市鶴見区佃野町1-7深谷ビル1階

090-6536-1533 tomonikanagawa@gmail.com

青島まさはる
LINE
公式アカウント



青島まさはる 
ホームページはこちらを検索



ホームページ